

〔 読 書 会 〕

渡辺 治『増補 憲法「改正」』

この秋の臨時国会では、改憲に直結する国民投票法案の成立を許すのか、はばむのかが大きな争点となります。さらに、自民党次期首相候補が改憲と教育改革を政権公約の柱に掲げる方針を打ち出し、憲法改正を次期政権の最大の課題と位置づけるなど、改憲をめぐる情勢は急展開し、緊迫しています。

そこで改めて、昨年秋の憲法講演会でご講演いただいた、渡辺治先生の著書『憲法「改正」』を読み合わせることで、改憲の背景とねらい、国民投票法案の危険な中身、改憲を阻むための取組み・運動はどうあるべきかについて、ともに考えこれからの取組みに生かしていきましょう。



**あらかじめお読みいただいた
うえで、ご参加ください。**

テキストをお持ちでない方は、書店かインターネットで
注文して、早めのご入手をお願いします。

2回に分けて開催の予定です。
次の開催日は、9月6日の参加者で
話し合って決めたいと思います。

***日 時：9月6日（水）午後6時30分～**

***場 所：矢口区民センター 会議室**

***テキスト：渡辺 治 著『増補 憲法「改正」』
（旬報社・2005年11月増補版発行 本体価格1,000円）**

＜著者紹介＞ 渡辺 治（わたなべ おさむ） 一橋大学教授、専攻＝政治学・日本政治史、
主著に『日本国憲法「改正」史』（日本評論社）ほか多数。

〔テキスト・目次〕 0 自民党「新憲法草案」と急を告げる改憲／1 いま、なぜ改憲か／2 憲法九条は現実を
いかに変えたのか？／3 経済グローバル化と九条改憲のねらい／4 軍事大国化の完成と九条改憲／5 改
憲の長期的なねらい／6 改憲はどこまで進んだか——国民投票法のねらい／7 改憲を阻止するために

※報告・討論のための問題提起：若林

**※テキストは、増補版（自民党「新憲法草案」の内容・ねらいを盛り
込んでいる）を使用します。旧版をお持ちの方は増補された「0章」
（12ページ分）を別途お読み願います。**